

台付2ハンドルシャワー・混合栓 取扱説明書 (安全編)



■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
■この取扱説明書はシャワー仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、しては いけない禁止の内容です	この絵表示は、 「分解禁止」の内容です	この絵表示は、 「接触禁止」の内容です	この絵表示は、必ず実行して いただく「強制」の内容です
---------------------------	------------------------	------------------------	--------------------------------

やけど、漏水をした場合の処置
やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
漏水した場合は元栓、または止水栓を開けてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。
そして専門の業者に修理を依頼してください。

<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>85℃以上はダメ</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合等の改造はしないでください。</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>
<p>（シャワー仕様の場合）シャワー使用中に2カ所同時使用をしないでください。</p> <p>他所の水栓の使用等により水圧変動が起り、湯の使用中に湯温が急上昇し、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>器具の左側は給湯側のため高温になっています。器具（金属）の表面に直接肌を触れないでください。</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>
<p>高温の湯をお使いのときは吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。</p> <p>接触禁止</p>	<p>湯水をお使いになる前に、必ず手で湯温かどうか確かめてください。</p> <p>確かめないで高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時や、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。</p>	<p>（シャワー仕様の場合）お使いになる前に、吐水口側かシャワー側かを吐水切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。</p> <p>吐水口とシャワーを間違えると、やけどをするおそれがあります。</p>

<p>漏水を出すときは、必ず水側のハンドルから開いた後、徐々に湯側のハンドルを開いて湯温を調節してください。</p> <p>湯 2番 水 1番</p> <p>湯側のハンドルから開くと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>（シャワー仕様の場合）シャワー使用後は、吐水切替ハンドルを必ず吐水口側に切替えてください。</p> <p>吐水口側</p> <p>吐水切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かず湯を出すこ、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>湯水を止めるときは、必ず湯側のハンドルから閉めてください。</p> <p>湯 1番 水 2番</p> <p>次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>
<p>高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してから止水してください。</p> <p>熱湯 水</p> <p>水を流さないと次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>（シャワー仕様の場合）シャワーには60℃以上のお湯を通過させないでください。</p> <p>60℃以上はダメ</p> <p>禁止</p> <p>通過させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>（寒冷地仕様の場合）水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>注意</p> <p>めっき仕様の場合 めっき部品は、ぶつたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p> <p>ハンドルの急停止は、配管からの漏水を招くことがありますので、ゆっくり操作してください。</p> <p>ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておく、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金属の水抜き操作を行ってください。</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

水栓の品番をご確認ください
水栓に貼ってある品番シールをご確認ください。シールの左下が品番です。

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています
技術料...診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
部品代...修理に使用した部品代
出張料...製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

KVK修理受付センター TEL 0120-474-161
上記フリーダイヤルは携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からは 058-234-8946 をご利用ください。
受付時間/平日 9:00~18:30 土・日・祝日 9:00~17:00

株式会社 KVK
本社・工場/〒501-1195 岐阜市黒野308/TEL058-239-3111 代表
インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

日常のお手入れ・保守

お手入れ方法

【軽い汚れの場合】
汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

【ひどい汚れの場合】
中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。

【お取り扱い注意】
メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的な点検をおこなってください。

【湯、水ハンドルの操作性】
時々湯、水ハンドルをいっぱいに戻してください。
湯、水ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐水機能が損なわれるおそれがあります。

シャワー仕様の場合【吐水切替ハンドルの操作性】
時々吐水切替ハンドルをいっぱいに戻してください。
吐水切替ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐水切替機能が損なわれるおそれがあります。

（配管まわりからの水漏れ（1ヶ月に1回程度））
【△注意】配管まわりから水漏れがないか確認してください。部品の劣化・磨耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検を行ってください。

定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
取付日	お客様による日常のお手入れ・点検											買い替え ご検討
	消耗部品の交換（こまパック等）											
	磨耗劣化部品の交換											

部品の交換 部品が磨耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。
・磨耗・劣化部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等

【△注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換を行ってください。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。
（逆止弁は仕様により付いていないものがあります）
部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

補修用部品の供給期間 この製品の補修用部品（機能維持に不可欠な部品）の供給期間は製造中止後10年です。